令和８年８月２１日

千葉市長　神　谷　俊　一　様

千葉市市民局指定管理者選定評価委員会
会長　霞　晴久

指定管理者の行った公の施設の管理に係る評価について（答申）

令和８年４月１０日付け８千市総第１４号で諮問のありました標記の件について、別紙の市民・文化部会からの報告のとおり答申します。

千葉市
08.8.21
市議
288

令和　８年　８月２０日

千葉市市民局指定管理者選定評価委員会
会長　霞　晴久　様

千葉市市民局指定管理者選定評価委員会
市民・文化部会　部会長　田部井　宏明

指定管理者の行った公の施設の管理に係る評価について（報告）

令和８年４月１０日付け８千市総第１４号で、千葉市長から諮問のあった標記の件について、本部会において審議した結果、下記のとおり議決したので報告します。

記

１　指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価（令和７年度分）について
（議決日　令和８年７月１７日）

（１）千葉市文化ホール等

ア　千葉市若葉文化ホール及び千葉市美浜文化ホール

（ア）市の作成した年度評価案の妥当性について
市の作成した年度評価案の内容は、妥当であると判断される。

（イ）管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、改善を要する点等について

a　楽屋の利用時間区分の取扱いについて、通常の利用時間区分を超えて利用希望があった際の要件や対応策など、利用者のニーズに添えるように検討されたい。

b　ホールの予約方法について、負担が大きい、時間がかかるとアンケートに意見があったため、対応策の検討に加えて、公平性の観点から対面実施としている旨の周知を検討されたい。

c　修繕費について、削減ができた点は評価できる。

d　指定管理者の財務状況について、計算書類等の資料に基づいた判断であることを前提とするが、収益性はやや問題があるものの、安全性は高いため、事業継続が直ちに困難になるとは考えにくく、倒産、撤退のリスクはないと判断される。

イ　千葉市若葉区千城台コミュニティセンター

（ア）市の作成した年度評価案の妥当性について

市の作成した年度評価案の内容は、妥当であると判断される。

（イ）管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、改善を要する点等について

a　多目的室の利用促進について、サークル活動が停滞している団体もあるため、活動再生に向けたバックアップ体制を推進できるよう検討されたい。

b　稼働率が低いトレーニング室において、現在行っているカルテの提供、マニュアルの設置等の独自の取組みや自主事業の「みんなの図書館」という新たな取組みについても非常によいため、引き続き利用者数の増加に向けてＰＲに努められたい。

c　自主事業の収支について、収支が黒字になった点は評価できる。

（２）千葉市美術館及び千葉市民ギャラリー・いなげ

ア　市の作成した年度評価案の妥当性について

市の作成した年度評価案の内容は、妥当であると判断される。

イ　管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、改善を要する点等について

（ア）千葉市美術館

a　企画展の内容が素晴らしく、また写真撮影が可能な展示であったことで、特に若い世代がＳＮＳへ投稿したことによる周知効果も考えられ、観覧者数が増加した点は評価できる。

b　アンケートの実施項目について、通年同一の内容のみならず、対象や目的、または企画展の内容に応じた項目を検討されたい。

c　ＫｎｏｃｋＫｎｏｃｋカードについて、来場者の様々な意見や見方が共有できるとても良い取組みであるため、結果をアンケートフォームとも紐づけながらより効果的な実施に努められたい。

（イ）千葉市民ギャラリー・いなげ

a　引き続き利用者数の増加につながるよう、特に地域住民との連携、地域の学校とのコラボレーション、ＰＲ活動などへの取組みを検討されたい。

b　アンケート項目について、来場者の交通手段の把握のための項目を追加することで、意見にあった道が分かりにくい方への効果的なＰＲの仕方の模索にもつながるため、検討されたい。

（ウ）指定管理者の財務状況について、計算書類等の資料に基づいた判断であることを前提とするが、財務状況に特段問題は見られないことから、倒産、撤退のリスクはないと判断される。

（３）千葉市民会館及び千葉市文化センター

ア　市の作成した年度評価案の妥当性について

市の作成した年度評価案の内容は、妥当であると判断される。

イ　管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、改善を要する点等について

（ア）アーティストバンクの登録者数や、市民会館の大ホールの稼働率が目標値よりも上昇した点は評価できる。
（イ）千葉市民会館について、例年の課題ではあるが、特別会議室の稼働率が低いため、引き続き多様な用途への改修を含め具体的な利用促進策を検討されたい。
（ウ）千葉市文化センターについて、アーティストバンクが市内の自治会や医療介護施設等へのイベント企画などを通じてその魅力を発揮している点は評価できる。
（エ）千葉市文化センターの工事完了後も、利用者数の推移を検討したうえで着工前の利用者のリピート率向上に努められたい。
（オ）小ホールの椅子について、利用者目線での環境整備に努められたい。
（カ）指定管理者の財務状況について、計算書類等の資料に基づいた判断であることを前提とするが、収益性が低いことが懸念されるものの、事業継続が直ちに困難になるとは考えにくく、倒産、撤退のリスクはないと判断される。